



平成 22 年 5 月 28 日

各 位

代表者の役職者名 代表取締役社長 小林 徳也  
会 社 名 福井コンピュータ株式会社  
(コード番号：9790 東証第一部)  
問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 露野 勝  
T E L 0 7 7 6 - 5 3 - 9 2 0 0

**(変更)「資本準備金および利益準備金の額の減少、ならびに剰余金の処分に関するお知らせ」の変更に関するお知らせ**

平成 22 年 5 月 13 日に公表いたしました「資本準備金および利益準備金の額の減少、ならびに剰余金の処分に関するお知らせ」の開示内容について、一部変更を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、平成 22 年 6 月 25 日開催予定の第 31 回定時株主総会において承認可決されることを条件として、今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるための原資を確保するため、会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本準備金の額のうち 1,361,920,000 円を減少しその他資本剰余金に振替え、会社法 452 条に基づき、その他資本剰余金を全額減少し、繰越利益剰余金に振替えることとしておりました。

しかしながら、当社は平成 22 年 3 月期において利益剰余金が負の残高となっておらず、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振替えることは「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準」(企業会計基準第 1 号 平成 18 年 8 月 11 日) 61 項の規定に抵触し、会社計算規則等に違反する恐れがあることが判明したため、開示内容を変更しその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振替えないものといたします。

2. 変更箇所

平成 22 年 5 月 13 日に公表いたしました「資本準備金および利益準備金の額の減少、ならびに剰余金の処分に関するお知らせ」の開示内容のうち次の項目を削除することといたします。

2. 剰余金の処分について

会社法 452 条に基づき、前項にて生じたその他資本剰余金を全額減少し、繰越利益剰余金に振替えるものであります。

(1) 減少する剰余金の項目およびその額

その他資本剰余金 1,361,920,000 円

(2) 増加する剰余金の項目およびその額

繰越利益剰余金 1,361,920,000 円

(3) 減少後の剰余金の残高

その他資本剰余金 0 円

### 3. 今後の見通し

本件は、「純資産の部」の内での振替処理の変更となりますので、当社の純資産に変動はなく、当社の業績に与える影響はありません。

(ご参考) 本件変更後の当社(単体)の純資産

(単位:百万円)

	平成22年3月期	増減額	振替後
株主資本			
資本金	1,631		1,631
資本剰余金	2,861	—	2,861
資本準備金	2,861	△ 1,361	1,500
その他資本剰余金	—	+ 1,361	1,361
利益剰余金	1,844	—	1,844
利益準備金	61	△ 61	—
その他利益剰余金	1,783	+ 61	1,844
プログラム準備金	8		8
繰越利益剰余金	1,775	+ 61	1,836
自己株式	△ 771		△ 771
評価・換算差額等	△ 38		△ 38
その他有価証券評価差額金	△ 38		△ 38
純資産 合計	5,528		5,528

以上